

委員からいただいたごみ減量化に向けた御意見及び取組状況

番号	項目	発言委員	委員からいただいた御意見内容	対応状況	現在までの実施状況等	今後の実施（案）
1	1 ごみの適正処理対策事業 (3) 拠点回収の実施	青山委員	拠点回収を普及させたいものについて、期間を設定した回収活動を行ってみたいかどうか。	②実施に向け検討中	【拠点回収の品目】 使用済み割り箸、ペットボトルキャップ、使用済み天ぷら油、使用済みカートリッジ、使用済み小型家電（二次電池使用製品を含む）、衣類 【回収場所】 18箇所（各庁舎、市民センター等）	リチウムイオン電池等の二次電池を対象とした拠点回収の強化期間を実施する。
2	1 ごみの適正処理対策事業 (8) 多量排出事業者による減量化計画 (9) 事業者への要請 (10) 事業系一般廃棄物の拡散検査の強化	後村委員	青森市は事業系ごみの1人1日当たりごみ排出量が多く、市内事業所の現状等を踏まえた有効な取組をさらに検討し、積極的に実施していただきたい。	③対応済	【事業系ごみの減量化・資源化を図るための事業所訪問数】 令和2年度：29店舗 令和3年度：21店舗（10月末現在）	継続実施
3	1 ごみの適正処理対策事業 (9) 事業者への要請 ②事業者訪問による事業系ごみの減量化・資源化、	三津谷委員	①各事業所が具体的なごみの減量化の取組を行えるような勉強会や意見交換会を開催してはどうか。	②実施に向け検討中	【事業系ごみの減量化・資源化を図るための事業所訪問数】 令和2年度：29店舗 令和3年度：21店舗（10月末現在）	今後の事業所訪問の中で、事業所全体の勉強会等の実施を提案していく。
			②まずは市役所内でごみ分別強化やレジ袋禁止、ペットボトル使用削減などの取組を実施してはどうか。	②実施に向け検討中	【市役所内の分別状況】 可燃ごみ、不燃ごみ、ペットボトル、缶、びん、その他のプラスチック、古紙類 【マイバック、マイボトル等の推奨】 未実施	庁内LAN等により、市職員に対し、マイバック及びマイボトルの携帯を呼び掛けて行く。
4	2 ごみ問題対策・市民啓発 (1) 清掃ごよみ（青森地区）	西田委員	①市ホームページ掲載の「ごみ分別事典」「青森市事業系ごみ適正処理等ガイドブック」について、PDFをダウンロードしなくても快適に情報を得られるように、ページ内に情報を掲載すれば良いのではないかと。	②実施に向け検討中	【「ごみ分別事典」「青森市事業系ごみ適正処理等ガイドブック」の掲載状況】 「ごみ分別事典」「青森市事業系ごみ適正処理等ガイドブック」のPDFデータを市ホームページに掲載している。	(1) 「ごみ分別事典」 市ホームページに掲載する（現在作業中） (2) 「青森市事業系ごみ適正処理等ガイドブック」 市ホームページに掲載する（今後作業に着手）
			②雑がみの禁忌品を確認できるWebページのQRコードを清掃ごよみに掲載すれば良いのではないかと。	②実施に向け検討中	【雑がみの分別ルールに関するQRコードの掲載状況】 雑がみの分別ルールを掲載している「ごみ分別辞典」、「青森市事業系ごみ適正処理等ガイドブック」にアクセスするQRコードを「清掃ごよみ」に掲載している。	令和4年度版の「清掃ごよみ」に雑がみの分別ルールを確認できるQRコードを掲載する。

委員からいただいたごみ減量化に向けた御意見及び取組状況

番号	項目	発言委員	委員からいただいた御意見内容	対応状況	現在までの実施状況等	今後の実施（案）
5	2 ごみ問題対策・市民啓発 (5) ジュニア版ごみハンドブック	三津谷委員	マイボトルを使うなど、ごみを出さないようにする具体的な対策を記載してはどうか。	③対応済	【ジュニア版ごみハンドブックの配付実績（市内小学4年生・特別支援生徒） 令和元年度：2,498人 令和2年度：2,535人 令和3年度：2,419人 【令和3年度版ジュニア版ごみハンドブックの掲載内容】 「マイバックを使おう」、「ものを最後まで大切に使う」、「余分な包装は断ろう」、「使い捨ての商品はなるべく使わない」の内容を追加した。	継続実施
6	2 ごみ問題対策・市民啓発 (6) 幼児向け環境教育「むつわんかるた」	三津谷委員	「むつわんかるた」をさらに活用する機会を増やしてほしい。（解説付きの大会、段ボール等で作るワークショップ、パネル展示 など。）	③対応済	【むつわんかるたの活用実績】 (1) 令和2年度 令和2年12月13日に開催した「環境フェア」の中で、むつわんかるたを活用した環境学習を開催した。 (2) 令和3年度 「むつわんかるた 環境出前プログラム」として、依頼のあった団体に講師を派遣している。	継続実施
7	2 ごみ問題対策・市民啓発 (7) ②ごみ減量化・資源化に対する意識啓発 ア スポーツクラブと連携した意識啓発	三津谷委員	エコバッグの配布よりも、スポーツクラブと連携したごみ拾い活動の強化など、新たなごみが出ない取組が望ましい。	③対応済	【スポーツクラブと連携した市民一掃きデー・おもてなしクリーンキャンペーンの実施】 令和元年度 ラインメール青森（8回中8回参加） 青森ワッツ（8回中2回参加） 令和2年度：中止 令和3年度：中止	継続実施
8	2 ごみ問題対策・市民啓発 (7) ③生ごみ減量化促進事業 ア 「あおもり素材まるごとエコごはん」	三津谷委員	①エコレシピ紹介よりも、忙しいかたや料理に関心の薄いかたが真似をしたくなるような、小さな工夫や時短にもなるエコなアイデアを紹介した方が効果的ではないか。	①継続検討	【あおもり素材まるごとエコごはんによるレシピの紹介】 ・皮ごとごぼうと豚肉の春菊サラダ ・りんごと塩もみ大根の皮ごとサラダ ・皮ごと長芋と鶏肉のみかんポン酢炒め	「あおもり素材まるごとエコごはん」等の中で、エコなアイデアの紹介ができないか、主催者であるABAと相談していく。
			②配布するノベルティグッズは作成時にもごみが出ないものにしてほしい。	②実施に向け検討中	【エコグッズの配付状況】 令和2年12月に開催した「あおもり素材まるごとエコごはん」において、雑がみ袋等のエコグッズを配付した（配付者数200人）。	令和3年12月に実施を予定している「あおもり素材まるごとエコごはん」でのエコグッズの配付に当たっては、紙等のリサイクルが可能なものを使用し、可能な限りごみが出ないようにする。
			③「リユース食器利用促進補助事業」（亀岡市が実施）やイベント等での容器持参の推奨などに取り組んでほしい。	②実施に向け検討中	【リユース食器利用マニュアルについて】 (1) マニュアルの名称 リユース食器利用マニュアル (2) 作成者 青森県環境生活部環境政策課 (3) 作成年月 令和3年3月	県が作成した「リユース食器利用マニュアル」について、市のホームページ等で周知していく。

委員からいただいたごみ減量化に向けた御意見及び取組状況

番号	項目	発言委員	委員からいただいた御意見内容	対応状況	現在までの実施状況等	今後の実施（案）
9	2 ごみ問題対策・市民啓発 (7) ③生ごみ減量化促進事業 ア 「あおり素材まるごとエコごはん」 イ 「エコごはん料理教室の開催」	青山委員	「あおり素材まるごとエコごはん」「エコごはん料理教室」のレシピを周知する際、レシピで使用する「残りがちな食材」の栄養面の紹介を加えると良いのではない	②実施に向け 検討中	対応を検討中	会報せいそう等でエコレシピで使用する「残りがちな食材」の栄養面を紹介していく。
10	2 ごみ問題対策・市民啓発 (7) ③生ごみ減量化促進事業 カ 食品ロスモニターの実施	三津谷委員	食品ロスダイアリーは効果が期待できることから、同様に、可燃・プラスチックごみ等についてもごみの計量モニターを実施してはどうか。	②実施に向け 検討中	対応を検討中	可燃・プラスチックごみ等のごみの計量モニターについて、試験的に清掃管理課職員で実施する。
11	2 ごみ問題対策・市民啓発 (7) ④会報「せいそう」の発行（年3回）	三津谷委員	会報せいそうについて、広報あおりで周知する、市民センターや図書館等に掲示するなど、多くのかたに読んでもらえる工夫をすべき。	③対応済	【市民センター等での会報せいそうの掲示】 (1) 実施時期 令和3年7月 (2) 掲示内容 会報せいそう（令和3年7月1日号）ほかバックナンバー (3) 掲示場所 各市民センター、市民図書館、県立図書館	継続実施
12	2 ごみ問題対策・市民啓発 (7) ⑤市民一掃きデーの開催	三津谷委員	イベント時にごみを拾うだけでなく、やれる時や気付いたときに気軽にゴミを拾える仕組みづくりが必要（ボランティア用ゴミ袋、ボランティア清掃支援など）。	③対応済	【市によるボランティア清掃に対する市の支援】 ごみ処理手数料（10キロ毎に110円）の減免、デレキ等の清掃用具の貸与 【ボランティア清掃の減免申請件数】 令和元年度：81団体 令和2年度：58団体 令和3年度：72団体 【デレキの貸与数】 令和元年度：1,960本 令和2年度：850本 令和3年度：1,656本	継続実施
13	2 ごみ問題対策・市民啓発 (7) ⑥おもてなしクリーンキャンペーン  ※おもてなしクリーンキャンペーンは、青森市ごみ問題対策市民会議に加入する団体（サークルブロック）が実施する清掃活動	三津谷委員	①市民一掃きデーと同様にごみ拾いの仕組みづくりが必要。	③対応済	No. 12と同じ	継続実施
			②もっとごみ拾いの回数を増やし、浅虫温泉付近の国道など、駅前以外でも実施すべき。多くの方がごみ拾いをしているところを何度も見せることが、ポイ捨てや不法投棄の抑止力になるのでは。	③対応済	No. 12と同じ	継続実施

委員からいただいたごみ減量化に向けた御意見及び取組状況

番号	項目	発言委員	委員からいただいた御意見内容	対応状況	現在までの実施状況等	今後の実施（案）
			③ウォーキングしながら清掃活動を行う「エコウォーカー事業」（亀岡市が実施）を実施してはどうか。	①継続検討	対応を検討中	【エコウォーカー事業（京都府亀岡市）】 （1）概要 ・エコウォーカーとは、ウォーキングをしながら行う清掃活動 ・拾ったごみは、それぞれの家庭系ごみとして排出する ・登録者にはトングや浄水機能付きボトル等を進呈する ・活動中に起こった事故やケガで通院した場合は、ボランティア保険が適用される（保険料は市が負担） （2）開始時期 令和2年3月 （3）登録者数 1,047人（令和3年10月末現在）
14	2 ごみ問題対策・市民啓発 (7) ⑦もったいないを考える日	三津谷委員	①青森市清掃工場の見学者募集を通年でさらにPRしてはどうか。	③対応済	【青森市清掃工場の見学者の受入期間】 通年（ただし、新型コロナウイルスの状況に応じ受入を中止する期間あり） 【受入実績】 令和元年度：2,376人（49団体） 令和2年度：2,073人（35団体） 令和3年度：中止	継続実施
			②「もったいないを考える日」には、本来の意味に沿った、エコな暮らしのヒントや、まだ使えるものを活用するアイデアの紹介等を行ってはどうか。	①継続検討	対応を検討中	他都市の取組を研究していく。
			③ごみ減量のアイデアをSNSで発信してはどうか。	①継続検討	対応を検討中	他都市の取組を研究していく。
			④「もったいないを考える日」に実験的に、徳島県上勝町の「くるくるショップ」のような、不用品の無料交換を実施してはどうか。	①継続検討	対応を検討中	他都市の取組を研究していく。

委員からいただいたごみ減量化に向けた御意見及び取組状況

番号	項目	発言委員	委員からいただいた御意見内容	対応状況	現在までの実施状況等	今後の実施（案）
15	2 ごみ問題対策・市民啓発 (7) ⑧ごみ出しルール向上推進事業	三津谷委員	①ごみ出しルール講習会の回数を増やすべき。	③対応済	【町会や団体の依頼に基づくごみ出しルール講習会の開催】 令和元年度：8回（参加者数288人） 令和2年度：4回（参加者数96人） 令和3年度：3回（参加者数112人）*10月末時点  ※町会等からの依頼には全て対応している	継続実施
			②ごみの出し方分別事典について更に広報すべき。	③対応済	【ごみの出し方分別辞典の周知状況】 市のホームページに「ごみの出し方分別辞典」を掲載するとともに、「清掃ごよみ」にQRコードを貼り付けている。 また、会報せいそう令和3年7月1日号に、ごみの出し方分別事典のQRコードを貼り付けた。	継続実施
16	4 生ごみリサイクル事業 (2) 段ボールコンポスト普及促進事業	三津谷委員	①生ごみコンポスト講習会のマニュアルが分かりにくい。写真や動画を活用する、経験者に話してもらいなどの工夫ができるのでは。また、実施途中の疑問等について相談できる仕組みが欲しい。	③対応済	【生ごみコンポスト講習会の開催】 令和元年度：6回（参加者数50人） 令和2年度：6回（参加者数56人） 令和3年度：新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした 【マニュアル等の見直し状況】 R3年度の実施に当たり、マニュアルの見直し、動画の入手、経験者の講師を準備した。	継続実施
			②市販のコンポストについて、情報提供してはどうか。	②実施に向け検討中	対応を検討中	コンポストについて、会報せいそう等で情報提供していく。
17	5 分別収集推進事業（資源ごみの収集運搬・資源化等）	西田委員	その他のプラスチックをごみ袋のまま出すことができれば、手間を省くことにより、分別が促進されるのではないか。	①継続検討	【プラスチックごみの分別ルール】 ・プラマークのあるもの：その他のプラスチック ・プラマークのないもの：燃えるごみ  ※ごみ袋は容器包装製品ではないため、プラマークは付かない。	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律を踏まえ、市の対応を検討する。
18	家庭系の粗大ごみについて	後村委員	・家具等のリサイクル推進支援策等について、取組の必要性や具体策などを検討することを提案する。  <取組案> ① 譲渡希望者と譲り受け希望者の情報交換の場の提供 ② 修理が必要なものは、修理し、市民に販売する仕組みづくり ③ 民間団体やNPO等における取組の促進または側面支援	①継続検討	対応を検討中	他都市の取組を研究していく。